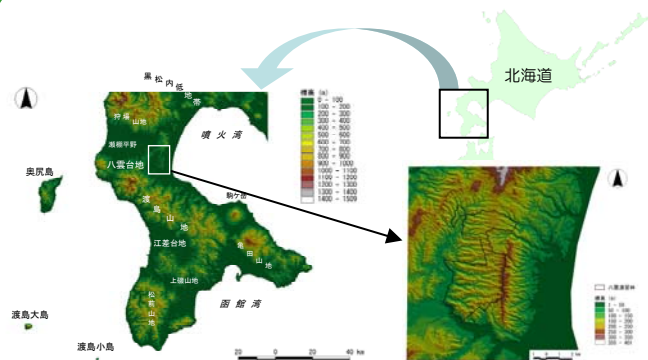


八雲演習林

演習林の位置



演習林位置図

八雲演習林は、北海道渡島半島の太平洋海岸に面する八雲町の富味および山崎地区にあります。同町中央を流れる遊楽部（ユラップ）川以北と、その支流のトフルベツ川東部に位置します。

演習林の概要

八雲演習林

- 面積：2,406 ha
- 標高：80 ～ 300 m
- 地形：全般的に西向き斜面が多く、急斜面によって占められます。
- 地質：硬質泥岩を主とした凝灰岩および砂岩で、八雲層群に属します。
- 土壌：土壌は壤土および砂壤土が主であり、深度は浅いのが特徴です。

● これまでの経緯：

1947年：徳川氏より購入。

1966年：2,140haを保安林に指定。

1970年：森林開発公団、森林組合、日本大学の三者による分収造林を開始。

現在は、本事業や団地造林事業が進められたことにより、大幅な林相の改良が図られ、豊かな森林となっています。

長万部演習林

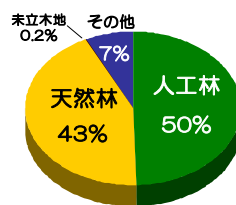
1943年の農学部設置にあたり、農学科および林学科共通の付帯施設として、寒冷地実習牧場および実習林として長万部町から購入したものです。演習林として約45haを所有し、そのうち8haにトドマツを植栽し、残りの箇所には亜寒帯広葉樹林の造成が進められています。



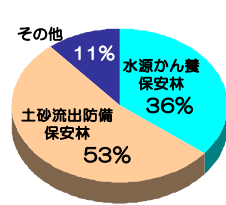
空中写真（幾何補正済）



樹種の空間分布



人工林と天然林



保安林

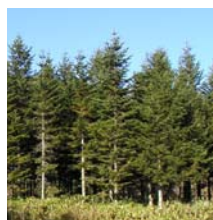
※演習林面積：2,406 ha

演習林実習

実習や研究に活用されています



演習林に多く見られる樹種



マツ科モミ属

トドマツ

(*Abies sachalinensis* (Fr. Schum.) Masters)

北海道を代表する針葉樹です。パルプ材、建築材、土木材として多く用いられ、重要な林業樹種となっています。

ブナ科ブナ属

ブナ

(*Fagus crenata*)

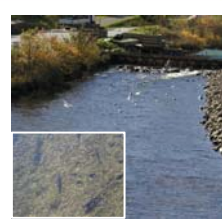
冷温帯樹種であるブナは、空中湿度の高い土壌の肥沃なところを好みます。耐寒性は高いのですが、耐寒性は低いため、北海道におけるブナの分布は渡島半島に限られています。



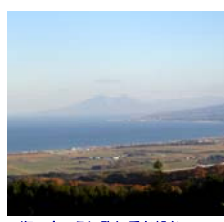
ギャラリー



▲秋の八雲演習林（2006/10/30 撮影）



▲トフルベツ川に遡上するサケ（2006/10/30 撮影）



▲海の向こうに駒ヶ岳を望む（2006/10/30 八雲演習林にて撮影）

海に隣接する八雲町では水産業がさかんです。また、遊楽部川・トフルベツ川にはサケが溯上します。上流の森林の存在は、川や海と深く関係し、漁獲量にも影響することから、八雲町の漁協では、植林活動を継続的に行っています。